

■対象・接種回数・接種方法

種類	接種対象年齢	接種回数・方法
子宮頸がん 予防ワクチン	中学1年生～高校1年生 に相当する年齢の女子	3回接種 ※予診室は、中学1年生に個別通知します。
ヒブワクチン	生後2か月 ～7か月未満	初回：4～8週の間隔で 3回接種 追加：初回接種終了後、約1年後に1回接種
	7か月～1歳未満	初回：4～8週の間隔で 2回接種 追加：初回接種終了後、約1年後に1回接種
	1歳～5歳未満	1回接種
小児用肺炎 球菌ワクチン	生後2か月 ～7か月未満	初回：27日以上あけて 3回接種 追加：初回接種終了後、60日以上あけて、 標準として1歳～1歳3か月の間に1回接種
	7か月～1歳未満	初回：27日以上あけて 2回接種 追加：初回接種終了後、60日以上あけて、 標準として1歳～1歳3か月の間に1回接種
	1歳～2歳未満	60日以上あけて 2回接種
	2歳～5歳未満	1回接種
	接種開始年齢	

■実施期間 …… 4月1日～平成25年3月31日

■実施医療機関 … 健診(検診)カレンダー (P27、28)をご確認ください。

■予約方法 …… 実施医療機関へ直接予約してください。

※詳細については、平成24年度健診(検診)カレンダーをご覧ください。

問い合わせ 健康推進課 ☎65-0736 ☎63-4591

●子宮頸がん予防ワクチン
●ヒブワクチン
●小児用肺炎球菌ワクチン

予防接種について

市では、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業により、甲賀市に住民登録のある方で、国が規定する対象の年齢の方に対して、子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種を無料で実施します。(接種費用の助成を行います)
この3つのワクチン予防接種は「任意接種」であるため、保護者の判断により接種を受けるかどうかを判断してください。

ふじの寺 大蔵寺 亀山市



～豪華な藤のシャンデリア～
県内有数の藤の名所として知られる太蔵寺。樹齢160年といわれる藤の木には、1メートル以上もある長い花房が垂れ下がり、境内は甘い香りに包まれます。
5月上旬の連休頃に見頃を迎え、多くの見物客でにぎわいます。
【ところ】亀山市住山町273
【アクセス】JR亀山駅から車で約10分
※高校生以上は200円(藤保存協力金)が必要です。
※藤の見頃は開花状況により前後する場合がありますの

伊賀上野NINJAフェスタ2012 伊賀市



～忍んでも 忍びきれない 伊賀上野～
春の恒例となっている忍者を体感できるイベントです。期間中の土日曜日(祝日)では「忍者変身処」で忍者衣装に着替えて町中6カ所にある「まちかど忍者道場」を巡り、忍者修行を楽しめます。
「まちかど忍者道場」にはこれぞ忍者といえる手裏剣打ちや弓矢のほか、市内の高校生が制作したバズルに挑戦する道場があります。そのほかにもさまざまな忍者に関連するイベントが開催されます。また、平日でも市内に10カ所ある「まちかど忍者変身処」で忍者衣装に変身でき、「まちかど忍者道場」では手裏剣打ち体験が楽しめる。

で、詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ
大蔵寺
☎0595-8210824
文化部観光振興室
☎0595-9611215

問い合わせ
産業振興部 商工労働観光課
☎0595-4312309
☎0595-4312311

問い合わせ 甲賀市広報課 ☎65-0675 ☎63-4619 伊賀市秘書広報課 ☎0595-22-9636 ☎0595-22-9617 亀山市広報秘書室 ☎0595-84-5022 ☎0595-82-9685

「湖国寮:TOKYO Student-House Mother Lake Shiga」
入寮者募集

東京都内やその近郊にある大学などで勉強する滋賀県出身の学生などで、寄宿先に困窮している方のために、財団法人湖国協会が、首都圏の学生の修学援護を目的に都内に学生寮を設置しています。
この春、武蔵野市に5階建ての新棟が完成しました。未来に向かって新たなスタート台にたち、首都圏で学ぶ滋賀県出身の学生生活を支援する 湖国協会では、現在入寮希望者を募集しています。
詳しい内容については、各地域市民センターに設置しているパンフレットをご覧ください。湖国協会へお問い合わせ下さい。

問い合わせ
財団法人 湖国協会東京連絡所
☎03-3661-1180 ☎03-3661-5058

みんなの窓

いのちのバトンを
2万2千個の遺伝子

子どもは
お父さんとお母さんから
遺伝子をもろって生まれると
おじいちゃんが話してくれた

お父さんやお母さんに
顔やからだや声が似ているのは
遺伝子のせいなんだって

おじいちゃんや遺伝子のために
ひとりひとりみんな違う個性が
生まれるんだよと教えてくれた

ぼくたちの
顔やからだや声が
みんな違っているのは
それぞれが
お父さんやお母さんから
1万1千個ずつの遺伝子をも
らったからだ

そうか
遺伝とは
「似る性質なんだね
ぼくはお父さんのあったかい
大きな手とお母さんの優しい声が
似ればいいな」

(出典) 詩集「いのちのバトン」
著者 日野原重明 ダイアモンド社

この詩は、昨年十月の誕生日で百歳になられた現役の医師「日野原重明」さんの詩です。東京都内の病院で働く日野原さんですが、時には学校へ出かけ「いのちの授業」もされています。
授業では、まず最初に
「君たち、いのちを持っている～」
との質問に始まり、
「いのちは体のどこにあるの？」と続いていきます。手を心臓に当てて考える子や頭に当てて考える子が見られます。はつきりとした答えが見つけれない子や自信のなさそうな子どもたちにも、「そう、いのちは目に見えないもの。だからこそ、大切なものなんです。」と答えていかれます。最後に、
「いのちとは「君たちの持っている時間」「君たちが使える時間」のことです。いのちも時間も目に見えないけれど、君たちはそれを持って使うことができます。今は自分のためだけに使っているかもしれない。でも、大きくなったらどうか自分以外の誰かのためにも、君たちのいのちを使ってください。」
と答えていかれます。

私たちのいのち、持っている時間をいろんな人のために使ってみるのはどうでしょう。この本を読みながら、ふと自分の姿を見つめ直したときを過ごしました。

問い合わせ
人権推進課 人権教育推進係
☎6500693 ☎634582